

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

山口県知事 村岡 嗣政 殿

提出者

住 所 柳井市南町一丁目10番2号

氏 名 柳井市長 井原 健太郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 (0820) 22-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	柳井浄化センター
事業場の所在地	柳井市柳井字宮本塩浜1578-11
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	下水道事業
② 事業の規模	処理能力 5,110 m <sup>3</sup> /日
③ 従業員数	6名(課長、担当、受託業者4名:提出分には内訳記載なし)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	下水処理(浄化センター施設内) 余剰汚泥 → 機械濃縮(常圧浮上) → 機械脱水 → 搬出 民間委託 セメントもしくは肥料原料として使用

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)  上下水道部長 → 下水道課長 (兼 柳井浄化センター所長)  → 柳井浄化センター担当職員 → 委託会社職員		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度 (令和5年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥
	排出量	16,297 t
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥
	排出量	17,000 t
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の分別に関する事項		
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  分別していない	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  実施予定なし	

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	15,534 t
(これまでに実施した取組) 汚泥濃縮設備（常圧浮上装置）により、脱水前の汚泥濃度を濃縮した後に、スクリープレス脱水機を使用して脱水		
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	16,210 t
(今後実施する予定の取組) これまでと同様に、効率的な汚泥処理に努める。		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥
	全処理委託量	763 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	763 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組) 搬出した汚泥を再利用できる業者を選定し、書面による契約を締結のうえ、汚泥処理を委託している。	

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	全処理委託量	790 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	790 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<p>これまでと同様に、搬出した汚泥を再利用できる業者を選定し、 書面による契約を締結のうえ、汚泥処理を委託する</p>			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(2023年度計画)

別紙2-1

多量排出事業者 名称	柳井浄化センター	所在地(市町名)	柳井市	事業の種類	下水道業
------------	----------	----------	-----	-------	------

(単位:トン)

区分	種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
産業廃棄物	燃え殻																				
	汚泥	16,297	17,000					15,534	16,210			763	790			763	790				
	廃油																				
	廃酸																				
	廃アルカリ																				
	廃プラスチック類																				
	紙くず																				
	木くず																				
	繊維くず																				
	動植物性残さ																				
	動物系固形不要物																				
	ゴムくず																				
	金属くず																				
ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず																					
ぬいご																					
がれき類																					
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん																					
13号廃棄物																					
計 (A)	16,297	17,000	0	0	0	0	15,534	16,210	0	0	763	790	0	0	763	790	0	0	0	0	